

教師のコーディネート

先日の奥山先生の話提供授業では、たくさんの学びがありましたね。その中でも「教師のコーディネート」の大切さと難しさを感じた先生方も多かったのではないのでしょうか。

そこで、「福島県授業改善研究会」(H25)の調査研究チームの資料「授業中におけるコーディネートの在り方について」から、一部紹介したいと思います。

(1)授業展開の型

★一問一答型からの脱却を ～ 問題解決型な授業にならず、深まりのない授業に…

★意図的指名をしましょう ～ 子供たちの意見の確実な見取りを。

「BさんもAさんと同じ考えだったけど、付け加えはある？」
「Cさんは、別の考えがあるみたいだよ。説明してくれる？」

★ペア(小集団)で話し合わせましょう ～ 何を話し合わせるのか、焦点を絞って。

「Aさんはどんなことを言ったのか、お互いに説明してみて。」
「Bさんは、なぜそう言った(考えた)と思う？」
「Cさんの意見に、賛成?反対？」
「みんなはどう考えたかな？」

★意見を上げたり、つないだりしましょう ～ 思考過程を引き出して。

「Bさん、今Aさんが言ったこと、もう一度説明してくれるかな」
「今のAさんの意見についてどう思う？」

★子ども同士で話し合わせましょう ～ 話し合う力を育てて。

「みんなはAさんの考えについてどう思う？」
自由に話し合ってみて。」

(2)コーディネート8つのポイント

- ①温かい目で子どもを見て、受容的・共感的な態度で接すること。
- ②「ならぬものはならぬ」という厳しさを持ち、学習規律を整えること。
- ③子どもの姿をきちんと見る、見取ること。
- ④問いや意欲を子どもから引き出すこと。
- ⑤子どもの姿や発言をほめたり、価値付けたりすること。
- ⑥子どもの考えをつないだり、広げたりすること。
- ⑦特に配慮したい「あの子」や、普段目立たない「あの子」も生かすこと。
- ⑧ねらいの達成に向けて、分かる、できるようにすること。

ぜひ参考にされて、使えそうなものから使ってみてくださいね！

(3)子どもの思考を促す発問例

- ①根拠を問う…「なぜそう思うの？」
- ②焦点化する…「今までとの違いは？」
- ③転換を図る…「図にかいて説明できる？」
- ④選択させる…「どの考えがいいですか？」
- ⑤再生させる…「今の考えをもう一度言えますか？」
- ⑥比較させる…「どちらが〇〇と思いますか？」
- ⑦補助させる…「ヒントが言えますか？」
- ⑧一般化を図る…「どんなときもそう言えますか？」
- ⑨共有させる…「何が言いたいか、分かりますか？」
- ⑩集約させる…「全部違う考え方ですか？」

★他にも、こんなつなぎ言葉で…

「だとしたら?」「例えば?」(膨らます)
「つまり?」「でも…」(深める 広める)